

女性活躍推進連携事業【倉敷市】

地域の実情と課題

本市においても、他地域と同様に就業を希望しながら、子育て等を理由に求職していない女性が多いが、積極的な子育て支援施策により、近年少しずつ、M字カーブの改善が見られている。また、本市が平成26年に実施したアンケートでは、「ポジティブ・アクションに取り組む予定はない」と答えた事業所が36.2%に上っており、事業所における積極的な女性の登用の取り組みを進める必要がある。

事業の特徴

ワーク・ライフ・バランス推進セミナーを開催するにあたり、企画検討会議を開催し、セミナーの内容や構成を官民様々な機関・団体が集まって検討した。事業所における女性活躍に関する取り組み状況について、意見交換をすることで、現場の目線での女性活躍推進にかかる課題が抽出され、セミナーの内容が事業所の課題に添った充実したものとなった。

事業の効果

セミナーの参加者は当初の目標どおり約200名であり、参加事業所数は約100社であった。参加者に実施したアンケートでは「取り組みの様々なヒントが得られた」などの意見が多く見られ、「よかった」と回答した参加者が9割を越え、ワーク・ライフ・バランスへの関心の高まりが見られた。また、企画検討会議を通して、事業所間の女性活躍の取り組み状況の情報交換が行われ、ネットワークが構築につながった。

目的・目標

女性が子育てを等しながら就業を継続したり、再就職するなど、多様な働き方ができる社会をつくるためには、事業所側の理解、意識改革が重要である。ワーク・ライフ・バランスの実現は事業所の生産性向上に役立つ経営戦略であるとの認識を広め、女性活躍推進とワーク・ライフ・バランスの機運を醸成する。

目標：ワーク・ライフ・バランス推進セミナー参加者 200名

実績： " 約200名

連携団体

「ワーク・ライフ・バランス推進セミナー企画検討会議」を立ち上げ、連携して、セミナーの企画検討・運営を行った。

メンバー：金融機関(2社)、民間事業所(6社)、商工会議所女性会(3団体)、大学(1校)、男女共同参画推進センター登録団体(1団体)、国(労働局)、県、市(男女共同参画課、男女共同参画推進センター、人事課、労働政策課)

今後の課題

市民や事業所に対して、女性活躍の基盤となるポジティブアクションとワーク・ライフ・バランスを浸透させるためには、意識啓発や事例紹介を継続的に実施する必要がある。本セミナーへの参加は、取り組みを始める契機となることが期待でき、官民の様々な機関、団体と連携し、可能な限り多くの参加者を集めることが重要である。

事業の概要

①ワーク・ライフ・バランス推進セミナー開催

日 程:平成28年1月25日(水)

場 所:ライフパーク倉敷大ホール

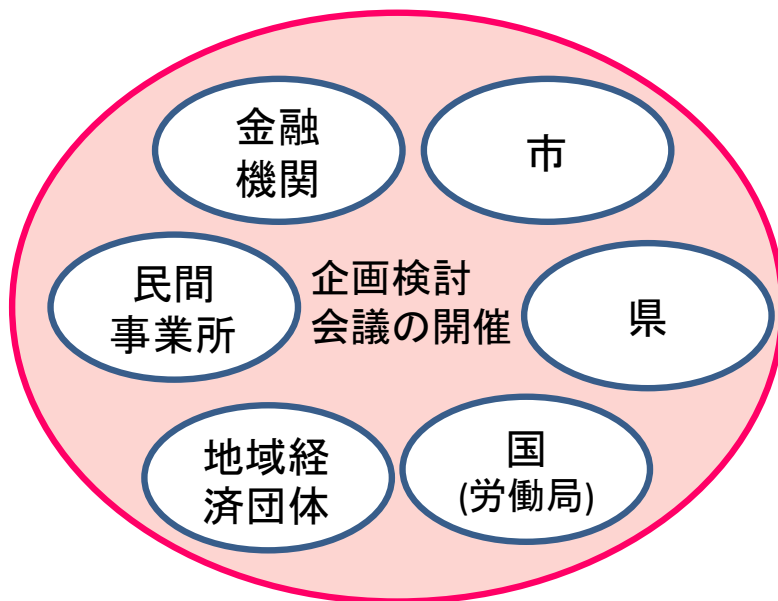
テーマ:「実践例から学ぶ!働き方改革」

内 容:佐々木常夫氏の講演と3つの事業所の取組の事例発表を実施

対象者:事業主、人事・労務担当者等

②ワーク・ライフ・バランス企画検討会議の開催

民間事業所や地域経済団体、国・県等と市が、企画検討会議を開催(年4回)し、多様な主体が連携してセミナーの企画検討・運営を行った



セミナー
実施



セミナー実施の効果

市内事業所への波及効果

参加者 約200名

参加事業所 約100社

事後アンケートでは「取り組みの様々なヒントが得られた」など、参加事業所の関心の高まりが見られた

ネットワークの構築

企画検討会議を通して、事業所間での女性活躍推進の取組状況の情報交換が可能となった